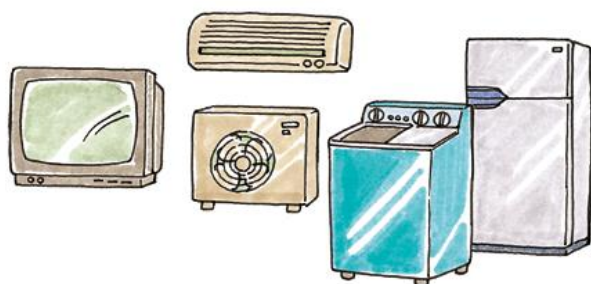


46期 (令和3年度 R2/12~R3/11)

# 環境活動レポート



対象期間 : 令和2年12月~令和3年11月

発行年月日 : 令和4年 3 月 25 日

株式会社サンクリーン

## 目 次

1 挨拶	1
2 環境経営方針	1
3 事業概要&認証登録範囲	2
4 実施体制	3
5 環境経営目標	4
6 環境経営計画	5
7 環境目標の実績	6
8 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	7
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	8
10 代表者による全体評価と見直し結果	8
11 情報公開事項	9

## 1 挨拶

この度は、(株)サンクリーンの環境経営レポートをご覧いただき誠にありがとうございます。  
弊社は、廃棄物の収集運搬及びペットボトルの処分をすることで花巻市の環境に寄与させて頂いております。環境レポートも7回目となりました。46期はコロナ禍も2年目となり、経費削減に努めた結果、黒字に転ずることができました。しかしながら原油高が夏から本格化したため47期に向けてはまた、苦しい日々となりそうです。今後も本来の目的を見失うことなく、環境に対する姿勢を変えずに勤めて生きたいと思っております。今後とも社員一同精いっぱい努力を続けていきたいと思っております。

代表取締役

上田 美智子

## 2 環境経営方針

### 〈基本理念〉

株式会社サンクリーンは、廃棄物を収集運搬し適正に処理することにより、地域ひいては地球全体の美しい環境を守ることに貢献する。

### 〈行動指針〉

- 1.廃棄物の削減・再利用・再資源化への寄与  
お客様による廃棄物の削減・再利用・再資源化へ協力することにより、お客様の環境保全活動に寄与する。  
自社排出廃棄物の削減・再利用・再資源化をはかる。
- 2.エコドライブの推進  
収集・運搬車両のエコドライブを推進し、省エネと排気ガスの抑制に取り組む。  
合わせて、省エネ、節水、廃棄物の削減に取り組む
- 3.収集運搬効率の向上  
収集運搬の原単位比較(軽油量L/収集運搬量kg)により生産性向上に取り組む。
- 4.顧客の信頼  
顧客の信頼維持のため、従業員の資質向上、情報公開及び地域貢献を推進する。
- 5.法令の遵守  
廃棄物処理法その他の法令等を遵守する。
- 6.全従業員の参加  
環境目標及び施策を活動計画の中で明らかにし、全従業員が自らの職務の中で積極的に活動に参加できるようにする。
- 7.代表者のコミットメント  
代表者は、環境保全に対する自らのコミットメントを明確に示すことにより、当会社の環境保全活動の推進に努めると共に、取組状況を把握し、必要に応じて活動計画を見直すことにより、活動が継続的に行われるように努める。
- 8.環境経営方針の周知徹底  
環境方針はすべての従業員に周知徹底すると共に、社外の求めに応じて開示する。

制定平成26年12月1日  
改訂令和3年6月1日(第4版)

岩手県花巻市太田5-74  
株式会社サンクリーン  
代表取締役 上田 美智子

### 3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社サンクリーン  
代表取締役 上田美智子

2 所在地

岩手県花巻市太田第5地割74番地

3 環境管理責任者

環境管理責任者 藤根 昭彦 TE 0198-28-2245

4 事業活動の内容

一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬・処理業

5 事業規模 令和2年度実績

資本金 10百万円

項目	44期	45期	46期
	H31.12.1-R1.11.30	R1.12.1-R2.11.30	R2.12.1-R3.11.30
	令和1年度	令和2年度	令和3年度
売上高	219,485,328円	210,152,723円	209,411,303円
従業員※1	29名	29名	29名
延べ床面積	14,665㎡	14,665㎡	14,665㎡
収集運搬車両※2	17台	17台	16台

※1. 45期以前の従業員数をエコ21の基準の半日就労者は0.5と数えるに直した

※2. 平ボディ、アームロールを含む

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全事業活動が認証登録範囲

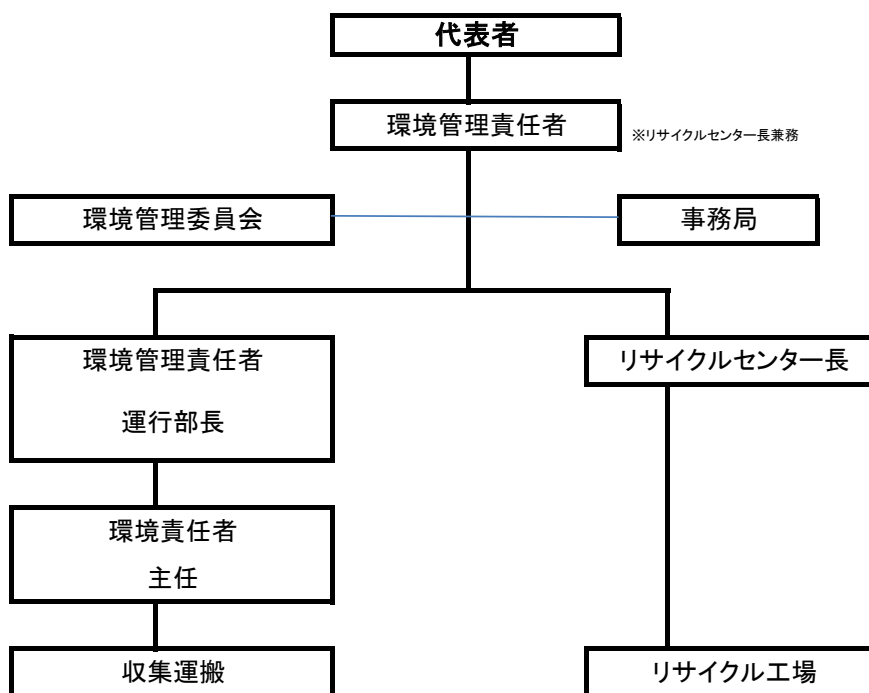
7 営業範囲

花巻市内

## 4 実施体制

### 1 組織 2 役割・責任・権限 (1) 組織図

R2.12.1-R3.11.30の組織図



### (2) 環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任。</li> <li>・経営における、課題とチャンスの整理と明確化。</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>・環境管理責任者を任命。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施。</li> <li>・環境方針の策定</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長は会長とし、事務局の提案を受けて、環境管理責任者が召集する。</li> <li>・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。</li> <li>・内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合がある場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。</li> <li>・代表者への取り組み状況の報告</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐。(環境経営システムの構築、実施、管理)</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付け)</li> <li>・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。</li> </ul>
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。</li> <li>・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。</li> <li>・従業員に対する教育訓練の実施</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

## 5 環境経営目標

### 1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成31年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	280,155	269,896	266,538
購入電力使用量	k w h	13,988	12,457	11,656
廃棄物排出量	t /年	69.275	6.738	3867
産業廃棄物排出量	t /年	69	6.675	3867
一般廃棄物排出量	t /年	0.275	0.063	0.236
総排水量 (水資源投入量)	m <sup>3</sup> /年	73	70	72

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(令和3年1月7日)の東北電力実排出係数 0.519kg-C

当社では、平成30年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境経営目標

					承認	確認	更新者
					上田	藤根	上田
					代表取締役	環境管理責任者	環境事務局
					更新日: R1.6.1		
コア指標	環境目標項目	責任部門	削減率又は増加率(%)	基準年度(H30年度)	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率)(目標値)		
					H31年度	R2年度	R3年度
		責任者	単位	基準値			
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量の削減	上田	削減率(%) kgCO <sub>2</sub>	8,309	1	2	3
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	運行部長 藤根	削減率(%) kgCO <sub>2</sub>	252,573	1	2	3
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	上田	削減率(%) kgCO <sub>2</sub>	1,875	1	2	3
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	上田	削減率(%) kg	115	1	2	3
	産業廃棄物の品目ごとの削減(廃酸他)	上田	削減率(%) kg	6,810	0.5	1	1.5
総排水量	節水	施設管理係 石川	削減率(%) m <sup>3</sup>	84	1	2	3
	受託した産業廃棄物のリサイクル率維持	上田	増加率(%) 件	100	0	0	0
環境配慮製品・サービス	電子マニュアルの普及	上田	増加件数 目標普及総数	6	1	0	1
	ペットボトル、缶のリサイクル量の向上	上田	増加率(%) 件	100	0	0	0
	環境苦情	上田	件	0	0	0	0
	EA21取組み教育	上田	回	1	2	2	2
社員教育	緊急事態訓練	上田	回	1	1	1	1
	資質向上教育	上田	回	1	1	1	1
地域貢献	ボランティア	上田	人	1	1	1	1
	地域清掃等	上田	回	0	1	1	1

## 6 環境経営計画

表3 主な環境経営計画の内容

項目	取組内容			
二酸化炭素排出量の抑制	照明	昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する。 社員用トイレ、倉庫等不必要な時は、消灯している。 事務室の部分照明を実行する。		
	冷暖房	冷暖房の温度(冷房28℃、暖房20℃)を順守する。 エアコンのフィルターの清掃を定期的(最低、毎月1回)に行う。 空調が必要な区域・時間帯に限定する。 使用していない部屋は、空調を停止している。 ドアの開け放しはしない。		
	節電	残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。 昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。 退社時は、OA機器の待機電源は切る。 パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取り組んでいる。		
	車両 その他	車両のアイドリングストップを実践する。 急発進・急加速はしない。 空ぶかしはしない。 冷暖房の控えめ使用 タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。 排気ガス、騒音のレベルを抑えるため、適正な車両整備を行う。 最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。 ハイブリッド車や低公害車への切り替えに取り組んでいる。		
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	冷暖房の温度(冷房28℃、暖房20℃)を順守する。冬場は帰宅時間を意識し余熱を活用するようにする。		
	廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする。 会議用資料の簡素化を図る。 同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する 帳簿見直しによる印刷物の削減 両面印刷、コピーを徹底する。 コピーをする前に、コピー機の設定の確認を行い、ミスコピーを減らす。 コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーは行わない。 使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。 使用済みの封筒を再利用する。 個人情報等を含んだ書類はシュレッダー処理を行うが、シュレッダーする前に分別を行う。 発生した紙ごみは、個人の手元で分別し、たまったらフロアの分別ボックスに投入する。 使用済みコピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。 分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。 古紙リサイクルを徹底する。 電子メール等を利用し紙を削減する パソコンで社内ネットワークを構築し、文書を共有する 文書の共有により、不要な印刷物を削減する。 商品や郵便や宅配便等の包装は、できるだけ簡易なものを選ぶ 不要なダイレクトメールは「受取拒否」する オフィス用紙には、できるだけ再生紙を購入し、使用する 紙コップなど使い捨て製品の使用や購入を抑える。 リターナル容器に入った製品を優先的に購入・使用する。 ゴミ箱の中に紙などを混入させないなど、廃棄物の分別を徹底する。 紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。 コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	
		産業廃棄物	廃油、廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。 分別を徹底し有価物化する。 一般ゴミが混載しないよう定期的にチェックする。 飛散、漏洩、悪臭、印象など、保管の状態に問題がないよう適正な管理を行う。 産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。 廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、チェックする。	
		資源として有価販売	ペットボトルの収集、処理、件数の増加	
		節水・排水	用水・排水	洗車時の無駄水の防止(ストップスル取付)に努める。 蛇口の水漏れがないか確認する。 水道水を出しすぎない。 水道を流しながら使用しない。 節水の表示を行う。 事故防止や汚染防止のためにウエス、吸着マットなどは、適切に保管する。
			グリーン購入	事務用品の購入 消耗品の購入

## 7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、弊社会計期45期令和1年12月から令和2年11月までの実績についての評価結果を報告いたします。(以下、評価結果等について簡潔にコメントする)。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年 (H30年度)	令和3年度			環境 目標 の達 成状
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
電力の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /年	8,309	1%削減	8,143	6,049	達成
ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	kg-CO <sub>2</sub> /年	252,573	1%削減	247,522	258,509	未達成
灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,875	1%削減	1,837	1,980	未達成
一般廃棄物	kg/年	115	1%削減	113	46	達成
産業廃棄物	kg/年	0	0の維持	0	0	達成
総排水量(節水)	m <sup>3</sup> /年	84	1%削減	82	72	達成
受託した産業廃棄物のリサイクル率	%	100	100%維持	100	100	達成
電子マニフェストの普及	件	6	1件増	7	7	達成
ペットボトル、缶のリサイクル率維持	%	100	100%維持	100	100	達成

### 環境目標の達成状況等

#### 1、二酸化炭素排出量

##### (1) 電力の二酸化炭素排出量の削減

昼休み消灯、暖房時間の短縮、暖房便座のふたを閉めるなど引き続き継続して行った。

##### (2) ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減

**基準年(H30)に対する1%づつの削減目標値247,522kgに対しては実績値261,958kgとなり未達成であったが、昨年度よりは改善している。冬場の暖機運転を10分程度とするように勤める他、エコドライブに勤めた。**

##### (3) 灯油・LPG等の二酸化炭素の削減

年齢構成が上がってきて、寒さを我慢するよう言わずらくなっていることと、昨冬は寒い日が続いて灯油消費が大きかった

#### 2、一般廃棄物

雑紙(ざつがみ)のリサイクル化の厳格化がなされている。

#### 3、産業廃棄物

サンクリーン由来の産業廃棄物の排出は0を維持している。

産廃のペットボトルについてくるビニール袋(廃プラスチック)、残りジュース(廃酸)は産廃として適正に処理され

#### 4、総排水量(節水)

節水表示し、引き続き削減している。

#### 5、環境配慮製品・サービス

##### (1) 受託した産業廃棄物のリサイクル率

100%維持

##### (2) 電子マニフェスト普及

変更はない

##### (3) ペットボトル、缶のリサイクル量の向上

100%維持



## 8 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1. 取組結果の評価

表5 主な環境経営計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	消灯……等の取組は、定着。	○
	冷暖房	20度に温度を設定。	△
	節電	昼休みの消灯、暖房便座のふたを閉める。	○
	車輛その他	エコドライブ推進、暖気運転の時間を短く。	○
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	一般廃棄物とリサイクル可能なものを分別する。	○
	産業廃棄物	産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理をする。	○
節水・排水	用水・排水	節水表示。	○
グリーン購入		事務用品、消耗品購入の際は、グリーンマークのついているものを購入。	○

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

### 2. 次年度の取組内容

#### (1)二酸化炭素排出量の削減

節電、エコドライブ、無駄なアイドリングストップの推進に努め二酸化炭素排出削減に取り組む  
ドライブレコーダー及びその記録簿を導入し、無駄な収集経路にならないか日々検討する

#### (2)廃棄物の排出削減

R3年活動計画を継続する

#### (3)節水(排水対策)

R3年活動計画を継続する

#### (4)グリーン購入

消耗品、事務用品等エコマークを確認し、環境配慮製品を優先購入する

## 9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ一切の違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

## 10 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境経営方針	おおむね方針通り実行できている	全従業員の参加 全従業員が積極的に活動に参加できるようにする為朝礼での環境教育の場を増やす
2 環境目標	おおむね方針通り実行できている	
3 実施体制	その他については、見直しを行わず引き続き実行する。	
4 その他		
5 全体評価	コロナ禍の中花巻温泉郷廃棄物処理組合を大口顧客としている弊社にとって、収集頻度の減少(可燃物の収集が毎日から月水金収集)のため、配車に苦勞をした。火木は休む車が3台もあることがあり経営を圧迫したし、効率的な収集にはいまだ至らずにいる。 衛生面からの社会的責任を考えコロナ対策には万全を期した。早い段階で市内の同業者に声をかけ、感染者が出た場合の同業者の協力体制について話し合った。サンククリーンはもとより同業者間でも一人の感染者も出さず現在に至っている。	

# 11 組織の概要(情報公開) R4.3.25現在

事業所名	株式会社サンクリーン					
代表者名	代表取締役 上田美智子					
所在地	岩手県花巻市太田5-7-4					
環境管理責任者	藤根 昭彦					
エコアクション2.1担当者	上田美智子					
連絡先	電話	0198-28-2245	FAX	0198-28-2248		
	E-mail	sun-clean@echna.ne.jp				
	URL	http://www.echna.ne.jp/~sunclean/				
事業活動の内容	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬 および 産業廃棄物中間処理					
事業計画の概要	産業廃棄物収集運搬業、中間処理業を通じて資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。					
事業の範囲	営業範囲：岩手県花巻市					
事業年度	R3年度 (2020.12~2021.11)					
売上高(百万円)	209					
収集運搬量 t	9,820					
処分量 t	75.2					
従業員(名)	29					
法人設立年月日	S50年12月16日		資本金	10 百万円		
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業区分、廃棄物の種類		
	一般廃棄物処理業	許可 有効	第252-13号 R2.4.1~R4.3.31	事業系ごみ・家庭系ごみ 収集運搬(保管、積替え含む) 花巻市の処理計画区域		
	一般廃棄物処理業	許可 有効	指令第43号 R2.4.1~R4.3.31	廃家電のみ(運搬)		
	産業廃棄物収集運搬業	許可 有効	00312036878 R3.1.23~R8.1.22	(水銀使用製品産業廃棄物を含む) 汚泥・廃油・廃酸・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類(保管、積み替え含む)		
	産業廃棄物処分量	許可 有効	00322036878 H29.11.16~H34.11.15	中間処理(圧縮減容処理) 廃プラスチック類・金属くず		
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	圧縮減容施設	廃プラスチック0.8t/日	1	塵芥車	4350kg	1
		金属くず1.2t/日	1	塵芥車	4500kg	1
	塵芥車	1650	1	アームロール車	3600kg	1
	塵芥車	1800kg	2	平ボディ	2000kg	1
	塵芥車	1850kg	1	コンテナ		16
	塵芥車	2500kg	1	フォークリフト		1
	塵芥車	3700kg	2	磁選別機		1
	塵芥車	3800kg	1	雪掻き機		2
	塵芥車	4050kg	2			
	塵芥車	4250kg	2			
塵芥車	4300kg	1				
処理方法・処理工程						
収集運搬 → 秤量 → 保管 → 圧縮減容 → 保管 → 出荷						

積替保管施設の面積及び保管上限量

廃棄物の種類	保管面積 (m <sup>2</sup> )	保管体積 (m <sup>3</sup> )	保管重量 (t)	備考
廃プラスチック①	14	9	3.15	屋内保管
廃プラスチック②	12	11.37	3.97	屋内保管
廃プラスチック③	4	2.25	0.78	屋内保管
木くず	2	0.41	0.22	屋内保管
金属くず①	7	2.83	3.19	屋内保管
金属くず②	6	2.33	2.63	屋内保管
ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（ガラスくずに限る。）①	3	0.84	0.84	屋内保管
ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（ガラスくずに限る。）②	3	0.84	0.84	屋内保管
ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（ガラスくずに限る。）	2	0.41	0.41	屋内保管
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの混合物（廃蛍光管に限る。）水銀使用製品産業廃棄物を含む	8.5	1.54	231(kg)	屋内保管
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの混合物（体温計血圧計に限る。）水銀使用製品産業廃棄物を含む	1	0.012	4.62(kg)	屋内保管
汚泥、金属くずの混合物（廃乾電池に限る（水銀電池を含む。））水銀使用製品産業廃棄物を含む	1	0.046	46.2(kg)	屋内保管

受託した産業・一般廃棄物の処理量

46期 令和3年度 (R2.12~R3.11)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬	一般廃棄物		8,132
	廃プラスチック		165
	木くず		7.7
	蛍光管・乾電池		3.3
	ガラスコンクリート・陶磁器		2.4
	廃プラ・金属くず混合		4.2
	金属くず		1.7
	他【がれき、廃油、汚泥】		0.8
収集運搬量合計			
中間処理	廃プラスチック (ペット)	圧縮	75.2
うち再資源化等	廃プラスチック (ペット)	資源化再生利用	75.2
		再資源化等量小計	
中間処理合計			75.2
中間処理後処分量計	再資源	PETフレーク原料	
		再資源化等量小計	
中間処理後処分量合計			

※最終処分の許可はありません